

第 16 回 日本データベース学会通常総会議事録

日時:2017 年 6 月 24 日(土) 午後 12:10 ~ 13:10

場所:リクルートテクノロジーズ

グラントウキョウサウスタワー41F, アカデミーホール

〒100-6640 東京都千代田区丸の内 1-9-2

出席者:出席者 254 名(委任状 230 名、総会出席正会員 24 名)

議題:

- 1) 2016 年度 事業報告ならびに決算について
- 2) 2016 年度 監査報告
- 3) 2017 年度 役員について
- 4) 2017 年度 事業計画および予算について

1. 司会の飯沢副会長から 第 16 回日本データベース学会通常総会の開会の辞が述べられ、通常総会が開始された。本総会は、日本データベース学会と一体運営を行っている ACM SIGMOD 日本支部の「2016 年度 ACM SIGMOD 日本支部年次事務会議」を兼ねていることが述べられた。本会定款 49 条の規定に基づき、通常総会の定足数は 116 名となること、および、出席者が委任状 230 名と総会出席の正会員数 24 名を足し合わせて 254 名となり定足数を満たしており、本総会が成立していることが宣言された。定款 48 条により清木会長を本通常総会の議長として選出した。
2. 議長の清木会長より、本学会の目的、体制、会員状況の説明に続き、2016 年度事業報告として、各事業(*1)の活動内容について、それぞれ報告が行われた。
続けて、飯沢副会長より 2016 年度決算報告(*2)が行われた。
*1 論文誌刊行、研究推進、産学連携推進、表彰、企画、男女共同参画推進、電子広報、情報システム、総会・理事会・評議会の各事業
*2 一般会計(収入、支出)、特別会計
3. 北川監事により 2016 年度の会計について、監査報告が行われた。北川監事および土田監事により 4 月 24 日に実施された監査の結果として、「2016 年度収支計算書について厳正に監査いたしました結果、適正に処理され妥当であることを報告いたします」との監査報告が行われた。
拍手をもって、2016 年度事業報告、2016 年度決算報告および監査報告が承認された。
4. 清木会長より、2017 年度の体制に関して、2016 年から体制継続する体制で会長、副会長、監事、理事の各候補者について説明が行われた。拍手をもって各候補者が選任され、2017 年度も清木会長、飯沢副会長、川越副会長、山名副会長を中心とする体制を継続することが承認された。

5. 清木会長より、2017 年度事業計画が報告された。2017 年度の事業として、論文誌刊行事業、研究推進事業、産学連携事業、表彰、企画・国際委員会活動、WebDB forum 2017、男女共同参画推進事業、電子広報事業、情報システム事業を継続して実施していくこと、及び、理事会・評議会・総会の開催計画について報告が行われた。引き続き、飯沢副会長より、2017 年度収支予算(*3)が報告された。拍手をもって、2017 年度事業計画、及び、2017 年度収支予算が承認された。
*3 2016 年度と同様、一般会計(収入、支出)、特別会計
6. 飯沢副会長より、ACM SIGMOD 日本支部の活動に関し、2015-2016 年度の体制と 2017-2018 年度の体制について紹介があった。拍手を持って承認された。
7. 清木会長より、2017 年度に向けての挨拶があり、地球環境、人類の起源と成り立ちを顧みて、今日本で DB に関係する研究が行えるすばらしさを共有し、CHALLENGE to INNOVATION with VISION, MISSION and PASSION を合い言葉に推進しようとの呼びかけが行われた。これに関連し、増永先生から DBSJ Journal のプレゼンスを向上して、チャレンジとイノベーションに寄与するとよいのではとのコメントがあった。これに対して、清木会長から同意の主旨が述べられるとともに、石川理事を中心に推進する旨返答があった。
9. 飯沢副会長より、第 16 回日本データベース学会通常総会の終了が宣言され、閉会となった。

以上